

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医学史		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	長嶋整形外科クリニック 柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の歴史を中心に医学史全般を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学 理論編						
《授業外における学習方法》						
臨床現場にてにおいて必要な知識を学ぶ。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師として現代医学を学んでいく上で必要不可欠な医学の歴史を学ぶ。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学の歴史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読	
		各コマにおける授業予定	医学の歴史			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	西洋の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読	
		各コマにおける授業予定	西洋の医学史			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	西洋の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読	
		各コマにおける授業予定	西洋の医学史			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	西洋の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読	
		各コマにおける授業予定	西洋の医学史			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読	
		各コマにおける授業予定	東洋の医学史			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	東洋の医学史		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	東洋の医学史		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	日本の医学史		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	日本の医学史		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の医学史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	日本の医学史		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復術の歴史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	柔道整復術の歴史		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復術の歴史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	柔道整復術の歴史		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復術の歴史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	柔道整復術の歴史		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復術の歴史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	柔道整復術の歴史		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療倫理の歴史について学習する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道整復学理論編 南江堂	柔道整復学理論編のテキスト第1章を熟読
		各コマにおける授業予定	医療倫理の歴史		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	304
担 当 教 員	石井 織江	実務経験と その関連資格	株式会社 テン十字グループ(2014年・4月～2018年・3月) いわもとクリニック(2018年・4月～2021年・3月) 柔道整復師免許 柔道整復専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験必修対策として柔道整復師国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版、関係法規 2020年度版、社会保障制度と柔道整復師の職業倫理、						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	後期	教室名	304
担 当 教 員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格	医療法人 淳良会 関目病院(H25・4月～H26・12月) 橋本スポーツ鍼灸整骨院(H27・3月～H29・9月) 柔道整復師、柔道整復師専科教員、NSCA-CPT、赤十字救急法指導員			
《授業科目における学習内容》						
国家試験必修対策として柔道整復師国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版、関係法規 2020年度版、社会保障制度と柔道整復師の職業倫理、						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	304
担 当 教 員	松澤 伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 兵庫柔整専門学校附属整骨院(H27・11月～H30・3月) 美作市スポーツ医療看護専門学校附属整骨院(R1・9月～現在に至る)			
《授業科目における学習内容》						
国家試験必修対策として柔道整復師国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版、関係法規 2020年度版、社会保障制度と柔道整復師の職業倫理、						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
	各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第2回	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
	各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第3回	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
	各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第4回	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
	各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第5回	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
	各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	後期	教室名	304
担 当 教 員	石井 織江	実務経験と その関連資格	株式会社 テン十字グループ(2014年・4月～2018年・3月) いわもとクリニック(2018年・4月～2021年・3月) 柔道整復師免許 柔道整復専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復学の各論の国家試験対策として柔道整復師国家試験出題基準の問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	整復応用実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	実技実習室
担 当 教 員	岡本 一馬	実務経験と その関連資格	かとう整形外科(H24年4月～H30年12月) みどりまち接骨院(H31年2月～現在に至る)			
《授業科目における学習内容》						
認定実技試験に対応する実技主体の講義。 国家試験にも目を向け、さらには臨床でも対応できるよう実施する。						
《成績評価の方法と基準》						
柔道整復師兼財団が実施する認定実技審査の評価に基づいて実技試験を実施する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論および柔道整復実技、レジュメ						
《授業外における学習方法》						
教科書に必ず目を通すこと						
《履修に当たっての留意点》						
実技認定試験、国家試験に係る科目なので真剣に取り組んでもらう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション: 認定実技試験に向け、柔道整復師兼財団が発表した要項を確認する。鎖骨骨折における整復操作についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	R2年度認定実技試験要項 教科書(柔道整復実技、理論)		
		各コマにおける授業予定	R2年度認定実技試験要項を確認する。鎖骨骨折の骨折部位、発生機序、整復操作			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折における整復操作についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)		
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折の骨折部位、発生機序、患部の状態、症状、整復操作			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節前方脱臼における整復操作についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)		
		各コマにおける授業予定	肩関節前方脱臼の脱臼部位、発生機序、患部の状態、症状、整復操作			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節後方脱臼における整復操作についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)		
		各コマにおける授業予定	肘関節後方脱臼の脱臼部位、発生機序、患部の状態、整復操作			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節側副靭帯損傷における検査法についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)		
		各コマにおける授業予定	膝関節側副靭帯損傷の損傷部位、発生機序、患部の状態、検査方法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷における検査法についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	足関節靭帯損傷の損傷部位、発生機序、患部の状態、検査方法		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折の固定法についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折の固定材料、固定手順		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	第5中手骨頸部骨折のアルミ副子固定、第2指PIP関節背側脱臼アルミ副子固定についてまとめ、認定実技に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	第5中手骨頸部骨折、手第2指PIP背側脱臼の固定材料、固定手順		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節後方脱臼におえるクラーメル副子固定、三角巾固定についてまとめ、認定実技試験に対応できるようにする。	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	肘関節後方脱臼の固定材料、固定手順		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反復練習	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折、コーレス骨折、肩関節前方脱臼、肘関節後方脱臼、膝関節側副靭帯損傷、足関節外側靭帯損傷		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反復練習	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折、コーレス骨折、肩関節前方脱臼、肘関節後方脱臼、膝関節側副靭帯損傷、足関節外側靭帯損傷		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反復練習	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折のクラーメル副子固定・局所圧迫固定、第5中手骨頸部骨折のアルミ副子掌側固定、肘関節後方脱臼のクラーメル副子固定、第2指PIP背側脱臼のアルミ副子背側固定		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反復練習	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折のクラーメル副子固定・局所圧迫固定、第5中手骨頸部骨折のアルミ副子掌側固定、肘関節後方脱臼のクラーメル副子固定、第2指PIP背側脱臼のアルミ副子背側固定		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反復練習	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折、コーレス骨折、肩関節前方脱臼、肘関節後方脱臼、膝関節側副靭帯損傷、足関節外側靭帯損傷		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反復練習	教科書(柔道整復実技、理論)	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折、コーレス骨折、肩関節前方脱臼、肘関節後方脱臼、膝関節側副靭帯損傷、足関節外側靭帯損傷		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	整復応用実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	実技実習室2
担当教員	大村晋司	実務経験と その関連資格	柔道整復師 柔道整復師専科教員 大村接骨院 開院7年目			
《授業科目における学習内容》						
認定実技試験に対応する実技主体の講義。 国家試験にも目を向け、さらには臨床でも対応できるよう実施する。						
《成績評価の方法と基準》						
柔道整復師兼財団が実施する認定実技審査の評価に基づいて実技試験を実施する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論および柔道整復実技、レジュメ						
《授業外における学習方法》						
柔道整復理論および柔道整復実技の教科書をしっかりと学ぶ。基礎からなるだけそれないこと。						
《履修に当たっての留意点》						
実技認定試験、国家試験に係る科目なので真剣に取り組んでもらう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反复練習		教科書(柔道整 復実技、理論)		
	各コマに おける 授業予定	コーレス骨折のクラーメル副子固定・局所圧迫固定、第5中手骨 頸部骨折のアルミ副子掌側固定、肘関節後方脱臼のクラーメル 副子固定、第2指PIP背側脱臼のアルミ副子背側固定				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反复練習		教科書(柔道整 復実技、理論)		
	各コマに おける 授業予定	コーレス骨折のクラーメル副子固定・局所圧迫固定、第5中手骨 頸部骨折のアルミ副子掌側固定、肘関節後方脱臼のクラーメル 副子固定、第2指PIP背側脱臼のアルミ副子背側固定				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反复練習		教科書(柔道整 復実技、理論)		
	各コマに おける 授業予定	本番と同じ内容で実施する。整復審査、固定審査				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反复練習		教科書(柔道整 復実技、理論)		
	各コマに おける 授業予定	本番と同じ内容で実施する。整復審査、固定審査				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	認定実技試験合格を想定した実践的反复練習		教科書(柔道整 復実技、理論)		
	各コマに おける 授業予定	本番と同じ内容で実施する。整復審査、固定審査				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第22回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第23回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第24回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第25回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第26回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第27回	授業を通じての到達目標	v認定実技試験総合範囲を総復習□ 全範囲から想定問題を出題□	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第28回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第29回	授業を通じての到達目標	認定実技試験総合範囲を総復習	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	全範囲から想定問題を出題		
第30回	授業を通じての到達目標	国家試験を想定したペーパー試験	教科書(柔道整復実技、理論)	
	各コマにおける授業予定	国家試験出題基準に準じた試験とする。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	整復臨床実技Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	後期 木 4限目	教室名	体育館
担 当 教 員	柴崎清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業(H4・2月～H13・8月) 大阪ハイテク附属整骨院(H18・11月～H29・8月) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
整復臨床実技において修得した投げ技を高めるとともに、高度な受け身(投げの形、実戦形式での受身)の取得を目標とする。「投の形」の手技、腰技、足技の9種類を受け取りともに身につける。なお、柔道実技審査に向けた指導をし、習得させる。						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
認定実技審査の項目						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
高度な受身・投げ技を習得するとともに、相手のことを尊重し、協力して全員が柔道実技審査に合格することを目標とし、授業に参加する						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道着の着こなし方、礼法、受身、投げの形について理解できるようにする。	認定実技審査要綱	柔道着の確認	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 柔道実技審査に向けたビデオ鑑賞			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	前回り受身 飛び込みの前回り受身の確認 すり足 前の移動 横の移動 後ろの移動	
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方、手技(浮落、背負投、肩車)を順番に指導する。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得	
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方、手技(浮落、背負投、肩車)を順番に指導する。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(腰技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得	
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方、手技(浮腰、払腰、釣込腰)を順番に指導する。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(腰技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得	
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方、手技(浮腰、払腰、釣込腰)を順番に指導する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(足技)3つの技を習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得
		各コマにおける授業予定	投げの形におけるの入り方、手技(送足払、支釣込足、内股)を順番に指導する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(足技)3つの技を習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(受・取の協力性)
		各コマにおける授業予定	投げの形におけるの入り方、手技(送足払、支釣込足、内股)を順番に指導する。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(受・取の協力性)
		各コマにおける授業予定	投げの形におけるの入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(より正確に美しく見せる)
		各コマにおける授業予定	投げの形におけるの入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(より正確に美しく見せる)
		各コマにおける授業予定	投げの形におけるの入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(より正確に美しく見せる)
		各コマにおける授業予定	投げの形におけるの入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	実践練習(乱取)にて、投げる、投げられ受身をとるといったことができるようにする。	認定実技審査要綱	きっちりとした技で投げる、投げられる際の受身
		各コマにおける授業予定	試合のルールについて、練習を通じて習得できるように指導する。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	実践練習(乱取)にて、投げる、投げられ受身をとるといったことができるようにする。	認定実技審査要綱	きっちりとした技で投げる、投げられる際の受身
		各コマにおける授業予定	試合のルールについて、練習を通じて習得できるように指導する。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	試合形式で実践し、公式試合に出場できる知識を身につけられるようにする。	認定実技審査要綱	審判の体験
		各コマにおける授業予定	試合のルールについて、練習を通じて習得できるように指導する。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	試合形式で実践し、公式試合に出場できる知識を身につけられるようにする。	認定実技審査要綱	実技試験に向けた演舞、実践練習
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	JATI特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	生田 晶子	実務経験と その関連資格	医療法人 竜操整形 竜操整形外科病院(H10・4月～R2・3月) 健康運動指導士 NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
1、2年生で学習し、習得したトレーニングの知識、実技をベースに、資格取得目標の一つであるJATIの資格試験合格に向けた試験対策授業ではあるが、資格対策のみではなくトレーニング指導の基礎から応用まで再度学習し、資格合格と共にトレーニング指導も出来るように学習していく。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:70点 出席点:20点 平常点:10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] 一般科目ワークノート改訂版、専門科目ワークノート改訂版 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
事前にテキストをを読み込む。 学習した内容はテキスト、配布プリントを用いて復習をする。 また練習問題を繰り返し行い、苦手分野を克服できるようにしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
欠席してしまうと、欠席のところの内容が学習されないまま進んでしまうため、全コマ出席を目指しましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての 到達目標	体力の概念や要素・上肢の機能解剖について理解することができるようになる。		トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容をワークノートを繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける 授業予定	体力学総論・機能解剖(上肢)				
第2回	授業を通じての 到達目標	脊柱と胸郭、下肢の機能解剖について理解することが出来るようになる。		トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける 授業予定	機能解剖(脊柱と胸郭)・機能解剖(下肢)				
第3回	授業を通じての 到達目標	バイオメカニクスについて理解することができる。		トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける 授業予定	バイオメカニクス(バイオメカニクスの基礎理論、スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス)				
第4回	授業を通じての 到達目標	呼吸循環系、骨格筋系、神経系などの運動生理学について理解することができるようになる。		トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける 授業予定	運動生理学 (呼吸循環系、エネルギー代謝と運動、骨格筋系、神経系内分泌系と運動)				
第5回	授業を通じての 到達目標	栄養学の基礎を理解することができるようになる。		トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける 授業予定	運動と栄養(運動と栄養に関する基礎理論、スポーツ選手の競技力向上と栄養、健康増進と栄養)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理に関する基礎を理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	運動と心理(運動と心理に関する基礎理論、スポーツ選手の競技力向上への活用、一般人の健康増進への活用)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急処置について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	運動と医学 (救急処置、スポーツ選手の整形外科的障害と予防)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作の指導や動作の習得、練習方法と内容について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	運動指導の科学		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニング指導者の役割について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	トレーニング指導者論		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニングの原理と原則、計画、立案について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	各種トレーニング法の理論とプログラム①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	各目的別のプログラム作成について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	各種トレーニング法の理論とプログラム②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	各目的別のプログラム作成について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	各種トレーニング法の理論とプログラム③		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各目的別のプログラム作成について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	各種トレーニング法の理論とプログラム④		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各目的別のプログラム作成について理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	各種トレーニング法の理論とプログラム⑤		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニング環境リスクマネジメント、情報の活用と情報の取り扱いについて理解することができるようになる。	トレーニング指導者テキスト[理論編、実践編] ワークノート 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	トレーニング効果の測定と評価・トレーニングの運営と情報活用		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	1 (30) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担当教員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格	医療法人 淳良会 関目病院(H25・4月～H26・12月) 橋本スポーツ鍼灸整骨院(H27・3月～H29・9月) 柔道整復師、柔道整復師専科教員、NSCA-CPT、赤十字救急法指導員			
《授業科目における学習内容》						
国家試験対策。 問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	1 (30) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	石井 織江	実務経験と その関連資格	株式会社 テン十字グループ(2014年・4月～2018年・3月) いわもとクリニック(2018年・4月～2021年・3月) 柔道整復師免許 柔道整復専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験対策。 問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	1 (30) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業(H4・2月～H13・8月) 大阪ハイテック附属整骨院(H18・11月～H29・8月) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
運動学、整形外科学、リハビリテーション医学の国家試験対策。 問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
運動学 改定第3版、整形外科学 改定第4版、リハビリテーション医学 改定第4版 国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	大村晋司	実務経験と その関連資格	整骨院にて6年勤務、朝日医療専門学校にて専任教員13年(現朝日医療大学校) 大村接骨院開院8年			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	大村晋司	実務経験と その関連資格	整骨院にて6年勤務、朝日医療専門学校にて専任教員13年(現朝日医療大学校) 大村接骨院開院8年			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問 題集、配布プリン ト	学習範囲内の復習と、 問題に対するポイントの 整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問 題集、配布プリン ト	学習範囲内の復習と、 問題に対するポイントの 整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問 題集、配布プリン ト	学習範囲内の復習と、 問題に対するポイントの 整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問 題集、配布プリン ト	学習範囲内の復習と、 問題に対するポイントの 整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問 題集、配布プリン ト	学習範囲内の復習と、 問題に対するポイントの 整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	松澤伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 兵庫柔整専門学校附属整骨院(H27・11月～H30・3月) 美作市スポーツ医療看護専門学校附属整骨院(R1・9月～現在に至る)			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	松澤伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 兵庫柔整専門学校附属整骨院(H27・11月～H30・3月) 美作市スポーツ医療看護専門学校附属整骨院(R1・9月～現在に至る)			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	井上晃一	実務経験と その関連資格	白馬堂整骨院(H27年・4月～H28年5月)、ひろまる整骨院(H28年5月～H30年11月) 接骨院開業(H30年12月～現在に至る) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。		国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
	各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	井上晃一	実務経験とその関連資格	白馬堂整骨院(H27年・4月～H28年5月)、ひろまる整骨院(H28年5月～H30年11月) 接骨院開業(H30年12月～現在に至る) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	柔道整復師、鍼灸師、柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国試対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	304教室
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	柔道整復師、鍼灸師、柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
問題演習を中心に行い、自分の苦手分野の把握と克服できるように学習を進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、授業内提出物等により判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題集、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内にて把握した苦手分野の反復学習。 過去問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
100%の出席を目指し、学習機会を減らさないようにしてもらいたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。	
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題対策			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準に準じた問題について、解答・解説できるようになる。	国家試験過去問題集、配布プリント	学習範囲内の復習と、問題に対するポイントの整理を行う。
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	外科学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 金・1限	教室名	305教室
担 当 教 員	山下 佐知子	実務経験と その関連資格	川崎医科大学附属病院(S49年4月～S54年3月) 太平台医院(S58年4月～現在に至る) 医師免許			
《授業科目における学習内容》						
日常臨床の場において遭遇することの多い代表的な外科疾患を各臓器別に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
一般臨床医学・病理学で学んだことを基礎に外科的に考えて症状から治療の仕方を学ぶ。 教科書内容(外科学概論:南江堂)に応じて教科書・パワーポイント等で授業を進める。						
《授業外における学習方法》						
国家試験に対して重要科目で、必ず臨床現場にて遭遇する疾患がある。症状等を確認する必要がある。						
《履修に当たっての留意点》						
患者さんの訴えに対して幅広く考え、適切な判断ができるように外科的知識を学ぶ。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	損傷がわかるようになる。		公益社団法人全 国柔道整復学校 協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習	
	各コマに おける 授業予定	1 損傷				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	炎症の意味や感染症の意味が分かるようになる。		公益社団法人全 国柔道整復学校 協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	病理学の復習	
	各コマに おける 授業予定	2 炎症と外科感染症				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	腫瘍とはどういうものかが理解できる。		公益社団法人全 国柔道整復学校 協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習	
	各コマに おける 授業予定	3 腫瘍				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	ショック状態やその時の措置がわかるようになる。		公益社団法人全 国柔道整復学校 協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習	
	各コマに おける 授業予定	4 ショック 5 輸血、輸液				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	消毒や滅菌の意味が分かるようになる。		公益社団法人全 国柔道整復学校 協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	公衆衛生学の復習	
	各コマに おける 授業予定	6 消毒と滅菌				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	手術の分類などが理解できる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	外科学の予習
	各コマにおける授業予定	7 手術			
第7回	授業を通じての到達目標	麻酔の意義や使用方法などが理解できる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	外科学の予習
	各コマにおける授業予定	8 麻酔			
第8回	授業を通じての到達目標	移植の種類、免疫の意味がわかる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習
	各コマにおける授業予定	9 移植と免疫			
第9回	授業を通じての到達目標	出血の意味、種類と止血の意味、種類が理解できる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	外科学の予習
	各コマにおける授業予定	10 出血と止血			
第10回	授業を通じての到達目標	蘇生の重要性がわかる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	外科学の予習
	各コマにおける授業予定	11 心肺蘇生法			
第11回	授業を通じての到達目標	主要徴候が理解でき、画像検査がわかる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習
	各コマにおける授業予定	12 脳神経外科疾患 13 甲状腺・頸部疾患			
第12回	授業を通じての到達目標	胸部の検査・治療法がわかる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習
	各コマにおける授業予定	14 胸壁・呼吸器疾患			
第13回	授業を通じての到達目標	循環器系の検査・治療法がわかる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習
	各コマにおける授業予定	15 心臓・脈管疾患			
第14回	授業を通じての到達目標	女性特有の疾患の症状が理解できる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	一般臨床医学の復習 病理学の復習
	各コマにおける授業予定	16 乳腺疾患			
第15回	授業を通じての到達目標	腹部疾患の症状や検査法がわかる。		公益社団法人全国柔道整復学校協会外科学概論 南江堂 改訂第4版	総合的な復習 まとめ
	各コマにおける授業予定	17 腹部外科疾患			

令和 4 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	関係法規		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 金 2	教室名	304
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	柔道整復師、鍼灸師、柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師法を中心に医療関係法規を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書(関係法規)						
《授業外における学習方法》						
国家試験に対して必修問題で出題される重要科目で、免許取得時から臨床現場にてにおいて必要な法規を学ぶ。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師として患者さんのためにも自分のためにも必要不可欠な法規を学ぶ。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	法の体系を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読	
		各コマにおける授業予定	法の体系			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療人全般の法規に関して理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師に関する法規			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	インフォームドコンセントとインフォームドアセントの違いを理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師法と患者の権利			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療事故と医療過誤の違いを理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読	
		各コマにおける授業予定	医療過誤とリスクマネジメント			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	免許制度を設ける理由を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師法の目的			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験と業務範囲について理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験と柔道整復師の業務範囲(守秘義務)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	施術所について理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	施術所		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	広告の制限を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	広告		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	罰則について理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	罪刑法定主義、両罰規定		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	指定登録機関、特例について理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	指定登録機関、免許・受験資格の特例		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	各医療従事者の資格法を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	医療従事者の資格法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	各医療従事者の資格法を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	医療従事者の資格法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療法を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	医療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉法を理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	社会福祉関係法規		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師法について理解する。	公益社団法人全国柔道整復学校協会関係法規 医歯薬出版	関係法規のテキストを項目ごとに熟読
		各コマにおける授業予定	柔道整復師法		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	柔道Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	前期	教室名	体育館
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業(H4・2月～H13・8月) 大阪ハイテク附属整骨院(H18・11月～H29・8月) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
<p>整復臨床実技において修得した投げ技を高めるとともに、高度な受け身(投げの形、実戦形式での受身)の取得を目標とする。「投の形」の手技、腰技、足技の9種類を受け取りともに身につける。なお、柔道実技審査に向けた指導をし、習得させる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
認定実技審査の項目						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
高度な受身・投げ技を習得するとともに、相手のことを尊重し、協力して全員が柔道実技審査に合格することを目標とし、授業に参加する						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道着の着こなし方、礼法、受身、投げの形について理解できるようにする。	認定実技審査要綱	柔道着の確認	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 柔道実技審査に向けたビデオ鑑賞			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	前回り受身 飛び込みの前回り受身の確認 すり足 前の移動 横の移動 後ろの移動	
		各コマにおける授業予定	投げの形においての入り方、手技(浮落、背負投、肩車)を順番に指導する。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得	
		各コマにおける授業予定	投げの形においての入り方、手技(浮落、背負投、肩車)を順番に指導する。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(腰技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得	
		各コマにおける授業予定	投げの形においての入り方、手技(浮腰、払腰、釣込腰)を順番に指導する。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(腰技)3つの技を習得できるようにする。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得	
		各コマにおける授業予定	投げの形においての入り方、手技(浮腰、払腰、釣込腰)を順番に指導する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(足技)3つの技を習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形受取両方の習得
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方、手技(送足払、支釣込足、内股)を順番に指導する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(足技)3つの技を習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(受・取の協力性)
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方、手技(送足払、支釣込足、内股)を順番に指導する。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(受・取の協力性)
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(より正確に美しく見せる)
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(より正確に美しく見せる)
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形(手技、腰技、足技)をすべて習得できるようになる。	認定実技審査要綱	投げの形での演舞(より正確に美しく見せる)
		各コマにおける授業予定	投げの形における入り方・終わり方、すべての形を一連の流れでできるように指導する。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	実践練習(乱取)にて、投げる、投げられ受身をとるといったことができるようにする。	認定実技審査要綱	きっちりとした技で投げる、投げられる際の受身
		各コマにおける授業予定	試合のルールについて、練習を通じて習得できるように指導する。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	実践練習(乱取)にて、投げる、投げられ受身をとるといったことができるようにする。	認定実技審査要綱	きっちりとした技で投げる、投げられる際の受身
		各コマにおける授業予定	試合のルールについて、練習を通じて習得できるように指導する。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	試合形式で実践し、公式試合に出場できる知識を身につけられるようにする。	認定実技審査要綱	審判の体験
		各コマにおける授業予定	試合のルールについて、練習を通じて習得できるように指導する。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	試合形式で実践し、公式試合に出場できる知識を身につけられるようにする。	認定実技審査要綱	実技試験に向けた演舞、実践練習
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	柔道整復学基礎Ⅱ(柔道整復学を総合的に学ぶ)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期 木1限	教室名	304教室
担当教員	井上晃一	実務経験とその関連資格	白馬堂整骨院(H27年・4月～H28年5月)、ひろまる整骨院(H28年5月～H30年11月) 接骨院開業(H30年12月～現在に至る) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復学を総合的に学び、他科目についても学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改定第6版						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って本読み・問題を繰り返し解き学習する。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第6版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習	
		各コマにおける授業予定	柔道整復学必修・総合必修問題の回答・解説			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習	
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第8版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第8版本読み	
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第9版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第9版本読み	
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第10版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第10版本読み	
		各コマにおける授業予定	小テスト・回答・解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第6版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学必修・総合必修問題の回答・解説		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第8版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第8版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第9版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第9版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第10版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第10版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第11版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	小テスト・回答・解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第11版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第12版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学必修・総合必修問題の回答・解説		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第12版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第13版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第13版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第14版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第14版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第15版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復学一般・総合問題の回答・解説		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策を行い、合格レベルまで到達することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第15版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第16版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	小テスト・回答・解説		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 水4	教室名	304
担 当 教 員	石井 織江	実務経験と その関連資格	株式会社 テン十字グループ(2014年・4月～2018年・3月) いわもとクリニック(2018年・4月～2021年・3月) 柔道整復師免許 柔道整復専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験必修対策として柔道整復師国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版、関係法規 2020年度版、社会保障制度と柔道整復師の職業倫理、						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第2回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第3回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第4回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				
第5回	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。		上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の必修出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 火3・4	教室名	304
担 当 教 員	石井 織江	実務経験と その関連資格	株式会社 テン十字グループ(2014年・4月～2018年・3月) いわもとクリニック(2018年・4月～2021年・3月) 柔道整復師免許 柔道整復専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復学の各論の国家試験対策として柔道整復師国家試験出題基準の問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 火3・4	教室名	304
担 当 教 員	石井 織江	実務経験と その関連資格	株式会社 テン十字グループ(2014年・4月～2018年・3月) いわもとクリニック(2018年・4月～2021年・3月) 柔道整復師免許 柔道整復専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復学の各論の国家試験対策として柔道整復師国家試験出題基準の問題出題基準に準じて問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学) について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を 行う。			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学) について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を 行う。			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学) について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を 行う。			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学) について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を 行う。			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学) について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に 対する解説作成	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を 行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題出題基準に準じた問題(柔道整復学)について、解答・解説できる。	上記教科書 参考資料 課題プリント	教科書の復習、問題に対する解説作成
		各コマにおける授業予定	柔道整復師国家試験出題基準の出題範囲に準じた問題演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復術適応の臨床的判断画像診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 木2限	教室名	304教室
担 当 教 員	井上晃一	実務経験とその関連資格	白馬堂整骨院(H27年・4月～H28年5月)、ひろまる整骨院(H28年5月～H30年11月) 接骨院開業(H30年12月～現在に至る) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
超音波画像装置の取り扱いや、医用画像の抽出、読影の基本を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
施術の適応と医用画像の理解,触診機能解剖アトラス上・下						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って本読み・医療用語学習・骨・筋の解剖の理解						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師が業務で取り扱うことのできる画像検査装置であり、国家試験問題にもエコー検査画像が出題されている。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	超音波装置について理解することができるようになる。	施術の適応と医用画像の理解または補足スライド資料	授業範囲・運動器解剖学の本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	医用画像の分類と使用上の注意点			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	超音波装置について理解することができるようになる。	施術の適応と医用画像の理解または補足スライド資料	授業範囲・運動器解剖学の本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	超音波検査装置について			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	超音波装置について理解することができるようになる。	施術の適応と医用画像の理解または補足スライド資料	授業範囲・運動器解剖学の本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	超音波検査装置プローブの操作方法			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	超音波装置について理解することができるようになる。	施術の適応と医用画像の理解または補足スライド資料	授業範囲・運動器解剖学の本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	超音波検査装置プローブの基礎操作実技			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	超音波装置について理解することができるようになる。	施術の適応と医用画像の理解または補足スライド資料	授業範囲・運動器解剖学の本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	超音波装置の画像表示について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	医用画像の読影と理解をすることができるようになる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	医用画像と症例		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	医用画像の読影と理解をすることができるようになる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	医用画像と症例		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	上肢の触診と検査法		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	上肢の触診と検査法		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	上肢の触診と検査法		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	下肢の触診と検査法		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	下肢の触診と検査法		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	下肢の触診と検査法		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	触診と検査法について理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	下肢の触診と検査法		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	前期講義内容を理解することができる。	施術の適応と医 用画像の理解ま たは補足スライド 資料	授業範囲・運動器解剖 学の本読み予習復習 資料
		各コマに おける 授業予定	復習とまとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔整演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 金・3限	教室名	304教室
担 当 教 員	木下 和樹	実務経験と その関連資格	医療法人 豊医会 原医院(H22年4月～現在に至る) 柔道整復師免許 理学療法士免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の業務は、接骨院・病院・介護施設・スポーツ現場と多岐にわたります。競技者の外傷予防や再発防止トレーニング、競技者を正しい情報、知識でサポートできるように考える						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
競技者の外傷予防						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って本読み、実技練習						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験においても出題されており、臨床現場においても必ず必要となる重要科目である						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動生理学を理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	運動とエネルギー代謝・骨と筋			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動生理学を理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	呼吸・酸素摂取量・循環			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	外傷予防の概論			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	外傷の発生要因			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	評価と測定について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習	
		各コマにおける授業予定	関節弛緩性テスト・筋タイトネステスト			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	コンディショニングの方法について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	ストレッチングの方法と実際		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	コンディショニングの方法について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	スポーツマッサージの方法と実際		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	コンディショニングの方法について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	スポーツテーピングの方法と実際		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	コンディショニングの方法について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	外傷予防に必要な筋力トレーニングの実際		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道における外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	肩関節の受傷・トレーニングの立案と実際		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	水泳・バスケットにおける外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	体幹の受傷・ACL損傷		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	サッカーにおける外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	足関節の受傷・トレーニングの立案と実際		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成長期の外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	オスグットシュラッター病		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の外傷予防について理解する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の受傷メカニズム		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	再復習をおこない疑問点などを解消する	競技者の外傷予防	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	授業総復習		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔整応用実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 金・4限	教室名	304教室
担 当 教 員	木下 和樹	実務経験と その関連資格	医療法人 豊医会 原医院(H22年4月～現在に至る) 柔道整復師免許 理学療法士免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
臨床実習を行うにあたって必要となる医療面接法、体表観察法、評価・測定 of 修得を目指す						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験80% 実技試験20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床実習ガイドライン 柔道整復師学理論編・実技編 解剖学						
《授業外における学習方法》						
身体部位の触診、身体計測、ROM、MMT、等の予習、復習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習においても必ず必要となる実技である。また国家試験や柔道整復師業務において重要科目である						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	臨床実習について理解する		柔道整復師学理 論編改定版6版	授業範囲本読み予習復 習	
	各コマに おける 授業予定	講義ガイダンス・オリエンテーション				
第2回	授業を 通じての 到達目標	医療面接について理解する		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復 習	
	各コマに おける 授業予定	医療面接 言葉使い、問診、接遇、視診				
第3回	授業を 通じての 到達目標	主要な骨、筋を触知できる		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復 習	
	各コマに おける 授業予定	主要な骨と筋の触知				
第4回	授業を 通じての 到達目標	身体計測、バイタルサインができる		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復 習	
	各コマに おける 授業予定	血圧測定、四肢長、四肢周径				
第5回	授業を 通じての 到達目標	ROM測定ができる		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復 習	
	各コマに おける 授業予定	肩、肘、手、股、膝、足関節				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ROM測定ができる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	肩、肘、手、股、膝、足関節		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	MMTができるようになる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	肩、肘、手、股、膝、足関節		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	MMTができるようになる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	肩、肘、手、股、膝、足関節		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	整形外科的テストができるようになる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	頸部・上肢		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	整形外科的テストができるようになる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	下肢		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	反射検査ができるようになる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	深部反射、表在反射		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚検査・運動機能検査ができるようになる	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	表在・深部感覚、上肢・下肢・体幹の機能検査		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	実技総復習	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	これまでに行った実技を行う		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	実技を行う	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	実技試験		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	再復習をおこない疑問点などを解消する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
		各コマにおける授業予定	授業総復習		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	柔整臨床実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 木・3,4限	教室名	実技実習室2
担 当 教 員	岡本 一馬	実務経験と その関連資格	かとう整形外科7年勤務 みどりまち接骨院3年勤務			
《授業科目における学習内容》						
実技認定試験に対応する内容である。実際の臨床との関連を明確にし、卒業後においても役に立つ内容を提供する。また、柔道整復師国家試験の対象範囲でもあるため国家試験も意識した授業を心がける。						
《成績評価の方法と基準》						
柔道整復試験財団が実施する認定実技審査の評価に基づいて実技試験を実施し評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論、柔道整復実技、オリジナルレジュメ						
《授業外における学習方法》						
オリジナルレジュメに基づいて自宅学習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
臨床を常に想定しながら、各外傷の知識と技術を習得するために真剣に取り組んでもらう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	橈骨遠位端骨折について理解し、診察と整復を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折 診察 牽引直圧整復法・屈曲整復法			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折 クラメル副子と局所副子・三角巾固定			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボクサー骨折の特徴を理解する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
		各コマにおける授業予定	第5中手骨頸部骨折 アルミ副子掌側固定			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	第5中手骨頸部骨折の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
		各コマにおける授業予定	第5中手骨頸部骨折 アルミ副子掌側固定			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	第2指PIP関節背側脱臼について理解する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
		各コマにおける授業予定	第2指PIP関節背側脱臼 アルミ副子背側固定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	鎖骨骨折について理解し、整復法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折 整復法		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	鎖骨骨折の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折 固定法		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼について理解し、診察と整復法を取得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩鎖関節脱臼 診察と整復法		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩鎖関節脱臼 固定法		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨外科頸外転型骨折について理解し、診察と整復を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	上腕骨外科頸外転型骨折 診察と整復		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨骨幹部骨折について理解し、固定具を作成	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	上腕骨骨幹部骨折 ミッドドルフ固定		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨骨幹部骨折の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	上腕骨骨幹部骨折 ミッドドルフ固定		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼について理解し、診察と整復法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩関節前方烏口下脱臼 診察と整復法		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩関節前方烏口下脱臼 局所副子・三角巾固定		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	肘関節後方脱臼について理解し、診察と整復法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肘関節後方脱臼 診察と整復法		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	柔整臨床実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	前期 木・3,4限	教室名	実技実習室2
担 当 教 員	岡本 一馬	実務経験と その関連資格	かとう整形外科7年勤務 みどりまち接骨院3年勤務			
《授業科目における学習内容》						
実技認定試験に対応する内容である。実際の臨床との関連を明確にし、卒業後においても役に立つ内容を提供する。また、柔道整復師国家試験の対象範囲でもあるため国家試験も意識した授業を心がける。						
《成績評価の方法と基準》						
柔道整復試験財団が実施する認定実技審査の評価に基づいて実技試験を実施し評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論、柔道整復実技、オリジナルレジュメ						
《授業外における学習方法》						
オリジナルレジュメに基づいて自宅学習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
臨床を常に想定しながら、各外傷の知識と技術を習得するために真剣に取り組んでもらう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	肘関節後方脱臼の固定法を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
	各コマに おける 授業予定	肘関節後方脱臼 固定法				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	肘内障について理解し、診察と整復法を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
	各コマに おける 授業予定	肘内障の診察と整復法				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	肋骨骨折について理解し、固定法を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
	各コマに おける 授業予定	肋骨骨折 さらしと厚紙副子固定				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	下腿骨幹部の固定法を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
	各コマに おける 授業予定	下腿骨幹部骨折 クラメール副子				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	下腿三頭筋損傷(肉離れ)について理解し、診察と検査法を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技お よびレジュメ		
	各コマに おける 授業予定	下腿三頭筋損傷(肉離れ) 診察と検査法				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	アキレス腱断裂について理解し、固定法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	アキレス腱断裂 クラメール副子固定		
第22回	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷について理解し、診察と検査法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	足関節外側靭帯損傷 診察と検査法		
第23回	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷について理解し、固定法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	足関節外側靭帯損傷 局所副子固定		
第24回	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷について理解し、固定法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	足関節外側靭帯損傷 局所副子固定		
第25回	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷について理解し、固定法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	足関節外側靭帯損傷 バスケットウィーブテープ固定		
第26回	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷について理解し、固定法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	足関節外側靭帯損傷 フィギュアエイト・ヒールロック固定		
第27回	授業を通じての到達目標	前期授業で行った疾患の診察、整復法、固定について再度理解し復習	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	前期 授業で行った疾患の診察、整復法、固定法		
第28回	授業を通じての到達目標	前期授業で行った疾患の診察、整復法、固定について再度理解し復習	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	前期 授業で行った疾患の診察、整復法、固定法		
第29回	授業を通じての到達目標	実技テスト(整復実技5分、固定実技5分)	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
	各コマにおける授業予定	認定実技試験の評価法に基づいて整復操作および固定実技について評価する。		
第30回	授業を通じての到達目標	実技テスト(整復実技5分、固定実技5分)		
	各コマにおける授業予定	認定実技試験の評価法に基づいて整復操作および固定実技について評価する。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習演習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期	教室名	外部実習先
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業(H4・2月～H13・8月) 大阪ハイテック附属整骨院(H18・11月～H29・8月) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
臨床実習の目的と意義。 オリエンテーションにて実習の心構え、容姿、注意点等の説明。 外部施設での見学実習						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出・態度と容姿、参加度を総合的に判断する。(実習指導調整者、科目担当者)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン						
《授業外における学習方法》						
臨床における実践的能力及び保険の仕組みに関する知識。患者との適切な対応、施術者になるための責任と自覚。 医療人としての倫理やマナー、容姿。多種職連携の重要性。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習現場にて、美作市スポーツ医療看護専門学校の学生としてふさわしい容姿や受け答えのできる人材。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション(臨床実習資料の説明)				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション(臨床実習資料の説明)				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定	大谷接骨院				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定	大谷接骨院				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定	大谷接骨院				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	大谷接骨院			
第7回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	大谷接骨院			
第8回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	美作名倉堂接骨院			
第9回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	美作名倉堂接骨院			
第10回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	美作名倉堂接骨院			
第11回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	美作名倉堂接骨院			
第12回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	美作名倉堂接骨院			
第13回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	みやわき鍼灸整骨院			
第14回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	みやわき鍼灸整骨院			
第15回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	みやわき鍼灸整骨院			

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習演習
科 目 名	臨床実習Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 不定期	教室名	外部実習先
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業(H4・2月～H13・8月) 大阪ハイテック附属整骨院(H18・11月～H29・8月) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
スポーツ現場における実践的能力や知識の習得、選手への適切な対応と責任の自覚。人間としての倫理やマナーについて総合的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート:50% グループワーク中の態度・発表:50% 実習態度と参加:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
スポーツ指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
スポーツの種類、実習前の準備、意義・心構えの確認						
《履修に当たっての留意点》						
トレーナーを行うにあたり自覚と責任とマナー						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション(臨床実習資料の説明)				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション(臨床実習資料の説明)				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第7回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第8回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第9回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第10回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第11回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第12回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第13回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第14回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第15回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習演習
科 目 名	臨床実習Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 不定期	教室名	外部実習先
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業(H4・2月～H13・8月) 大阪ハイテク附属整骨院(H18・11月～H29・8月) 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
スポーツ現場における実践的能力や知識の習得、選手への適切な対応と責任の自覚。人間としての倫理やマナーについて総合的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート:50% グループワーク中の態度・発表:50% 実習態度と参加:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
スポーツ指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
スポーツの種類、実習前の準備、意義・心構えの確認						
《履修に当たっての留意点》						
トレーナーを行うにあたり自覚と責任とマナー						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標			公益社団法人全 国柔道整復学校 協会 臨床実習 ガイドライン スポーツ指導者 養成テキスト		
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場での実習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第22回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第23回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第24回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第25回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第26回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第27回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第28回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第29回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			
第30回	授業を通じての到達目標			公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン スポーツ指導者養成テキスト	
	各コマにおける授業予定	スポーツ現場での実習			

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	国家試験対策講座 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期 火・1,2限	教室名	304教室
担当教員	大村晋司	実務経験とその関連資格	整骨院にて6年勤務、朝日医療専門学校にて専任教員13年(現朝日医療大学校) 大村接骨院開院8年			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師国家試験に向け、解剖学、生理学、運動学、柔道整復学など主要科目を総合的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
国家試験出題形式と同じ						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論、柔道整復実技、解剖学、運動学、生理学、オリジナルレジュメ						
《授業外における学習方法》						
オリジナルレジュメ、教科書を使い復習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験合格が単なる目標ではなく、その先の臨床を見据えた講義とする。学生の皆さんもそのつもりで学んで欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマにおける授業予定	脊柱損傷1			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖1			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマにおける授業予定	脊柱損傷2			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖2			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマにおける授業予定	上肢損傷1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖3		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	上肢損傷2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖4		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	上肢損傷3		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖5		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	上肢損傷4		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖6		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	上肢損傷5		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	体幹・上肢機能解剖7		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	上肢損傷6		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策講座 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 火・1,2限	教室名	304教室
担 当 教 員	大村晋司	実務経験と その関連資格	整骨院にて6年勤務、朝日医療専門学校にて専任教員13年(現朝日医療大学校) 大村接骨院開院8年			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師国家試験に向け、解剖学、生理学、運動学、柔道整復学など主要科目を総合的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
国家試験出題形式と同じ						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論、柔道整復実技、解剖学、運動学、生理学、オリジナルレジュメ						
《授業外における学習方法》						
オリジナルレジュメ、教科書を使い復習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験合格が単なる目標ではなく、その先の臨床を見据えた講義とする。学生の皆さんもそのつもりで学んで欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマに おける 授業予定	下肢機能解剖1			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマに おける 授業予定	下肢損傷1			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマに おける 授業予定	下肢機能解剖2			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマに おける 授業予定	下肢損傷2			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習	
		各コマに おける 授業予定	下肢機能解剖3			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢損傷3	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折の整復、固定について実施できるようにする		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢機能解剖4		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ□	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢損傷4		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢機能解剖5		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ□	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢損傷5		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢機能解剖6		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論と実技について総合的に学ぶ□	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢損傷6		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の根幹となる機能解剖を熟知し、それに付随する生理学的・運動学的事項を総合的に学ぶ。	解剖学 運動学 生理学 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	下肢機能解剖7		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習、試験準備	柔道整復理論 柔道整復実技 レジュメ	教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定			
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	期末試験		教科書の読み込み学習
		各コマにおける授業予定	国家試験出題形式における出題		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策講座Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 水 2	教室名	304
担 当 教 員	松澤伸也	実務経験とその関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 兵庫柔整専門学校附属整骨院(H27・11月～H30・3月) 美作市スポーツ医療看護専門学校附属整骨院(R1・9月～現在に至る)			
《授業科目における学習内容》						
国家試験対策として解剖学及び運動学の運動器、柔道整復学の国家試験出題基準に準じた問題演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
小テストの結果、提出物等により評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版、柔道整復学・実技編 改訂第2版、関係法規 2020年度版、社会保障制度と柔道整復師の職業倫理、解剖学、運動学						
《授業外における学習方法》						
小テストの問題に対して問題解説を作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書の復習を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など		教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など		教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など		教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など		教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など		教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の解剖学、運動学における運動器の問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の必修問題出題基準に準じた問題について、解答・解説できる。	教科書 参考資料など	教科書の復習、問題に対する解答、解説作成
		各コマにおける授業予定	問題演習及び解答解説(グループワークなど)		